



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日
東

上場会社名 ジェイリース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7187 URL https://www.j-lease.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長(氏名) 中島 拓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務兼執行役員(氏名) 中島 重治 (TEL) 03-5909-1245
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,219	12.8	88	—	66	—	31	—
2019年3月期第2四半期	2,854	21.9	△206	—	△229	—	△196	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 31百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △192百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.55	3.48
2019年3月期第2四半期	△22.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,565	657	8.7
2019年3月期	6,766	625	9.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 657百万円 2019年3月期 625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,050	15.9	270	—	220	—	150	—	17.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,800,000株	2019年3月期	8,792,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	60株	2019年3月期	60株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	8,795,673株	2019年3月期2Q	8,779,939株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等を背景に、雇用・所得環境が引き続き改善傾向にある一方で、通商問題を巡る緊張の増大など、海外経済の動向と政策に関する不確実性は依然として続いております。

当社を取り巻く賃貸不動産業界におきましては、少子高齢化、晩婚化の進行とともに単身世帯が増加傾向にあり、入居者層の変質にあわせた賃貸住宅の供給並びに入居需要は底堅く推移しております。また、2020年4月に施行される改正民法により連帯保証人の保証限度額の設定が義務化されることも追い風となり、当社グループの主要事業である家賃債務保証サービスに対する需要は引き続き好調に推移しております。

このような環境の下、当社グループは、家賃債務保証事業を核とした「生活サポートの総合商社」を目指し、積極的な営業活動を展開し、順調に売上を拡大してまいりました。経費面では、中長期債権の削減を目的とした訴訟の実施に伴い訴訟関連費用が増加した一方で、代位弁済発生抑制や債権管理体制の強化等による貸倒関連費用の抑制、業務効率化等による経費削減に取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,219,275千円（前年同期比12.8%増）、営業利益は88,937千円（前年同期は営業損失206,854千円）、経常利益は66,357千円（前年同期は経常損失229,649千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31,218千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失196,299千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(家賃債務保証事業)

家賃債務保証事業においては、市場シェアの拡大を目的とした既存店舗による売上拡大及びネットワークの拡充を図るとともに、事業者向けプラン「J-AKINAI」の拡販にも注力してまいりました。中長期債権の削減を目的とした訴訟の実施に伴い訴訟関連費用が増加した一方、債権管理体制の強化に取り組み、貸倒関連費用の増加抑制と、引き続き業務集約化及び効率化等により経費削減を行いました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の家賃債務保証事業の実績は、当社の保証を取り扱う不動産会社との協定件数は16千件（前年同期比11.4%増）、申込件数は87千件（前年同期比3.9%増）、前受保証料を含む保証料受取額は2,710,413千円（前年同期比13.9%増）となりました。

業績面においては、売上高は3,158,957千円（前年同期比13.5%増）、営業利益は101,178千円（前年同期は営業損失203,933千円）となりました。

(不動産仲介事業)

不動産仲介事業においては、引き続き増加が見込まれる海外からの外国人入居需要に対しての物件確保と集客に努め、賃貸仲介及びマンスリーマンションの運営を拡大いたしました。海外からの売買仲介が縮小いたしました。これらの影響も踏まえ、経費削減に取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の不動産仲介事業の売上高は58,083千円（前年同期比25.1%減）、営業利益は1,729千円（前年同期は営業損失2,920千円）となりました。

(その他)

その他においては、前期より開始しております医療費関連サービス等で構成されており、売上高は6,853千円、営業損失は14,191千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比799,073千円増加し7,565,374千円となりました。これは主に、代位弁済立替金の増加686,851千円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比767,399千円増加し6,907,901千円となりました。これは主に、短期借入金の増加600,000千円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比31,673千円増加し657,472千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加31,218千円によるものであります。

これらにより、自己資本比率は前連結会計年度末比0.6ポイント減少し8.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比71,091千円増加し967,928千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による支出は、396,403千円(前年同期は551,497千円の支出)となりました。主な増加要因は、売上債権の減少242,757千円、貸倒引当金の増加236,639千円等によるものであります。主な減少要因は、代位弁済立替金の増加689,461千円、収納代行立替金の増加243,983千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は、90,452千円(前年同期は66,651千円の支出)となりました。主な要因は、リース資産等の有形固定資産の取得による支出72,034千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による収入は、557,947千円(前年同期は417,049千円の収入)となりました。主な要因は、短期借入金の増加600,000千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月13日付「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	896,836	967,928
未収保証料	691,770	438,193
未収手数料	27,167	31,957
代位弁済立替金	4,340,325	5,027,176
収納代行立替金	546,962	790,945
貯蔵品	12,749	12,140
その他	246,228	213,466
貸倒引当金	△1,476,000	△1,704,000
流動資産合計	5,286,041	5,777,808
固定資産		
有形固定資産	97,265	295,287
無形固定資産		
その他	288,129	317,985
無形固定資産合計	288,129	317,985
投資その他の資産		
繰延税金資産	926,506	1,014,461
その他	232,424	232,537
貸倒引当金	△64,066	△72,706
投資その他の資産合計	1,094,864	1,174,292
固定資産合計	1,480,259	1,787,565
資産合計	6,766,301	7,565,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,600,000	3,200,000
1年内返済予定の長期借入金	60,048	60,048
リース債務	19,063	39,209
収納代行未払金	831,461	850,342
未払金	368,094	318,109
未払法人税等	143,237	139,684
前受金	1,515,076	1,588,117
賞与引当金	88,254	96,550
その他	227,354	249,224
流動負債合計	5,852,590	6,541,286
固定負債		
長期借入金	179,904	149,880
リース債務	8,650	137,948
役員退職慰労引当金	34,127	23,923
長期末払金	16,846	8,090
資産除去債務	47,873	45,834
その他	510	937
固定負債合計	287,911	366,614
負債合計	6,140,501	6,907,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	713,096	713,323
資本剰余金	288,096	288,323
利益剰余金	△375,343	△344,125
自己株式	△49	△49
株主資本合計	625,799	657,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	0
その他の包括利益累計額合計	—	0
純資産合計	625,799	657,472
負債純資産合計	6,766,301	7,565,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,854,635	3,219,275
売上原価	624,862	716,088
売上総利益	2,229,773	2,503,187
販売費及び一般管理費	2,436,628	2,414,249
営業利益又は営業損失(△)	△206,854	88,937
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	10	10
受取保険金	—	917
償却債権取立益	337	203
その他	639	227
営業外収益合計	990	1,363
営業外費用		
支払利息	8,729	12,507
債権譲渡損	14,057	9,908
その他	998	1,528
営業外費用合計	23,785	23,943
経常利益又は経常損失(△)	△229,649	66,357
特別利益		
資産除去債務履行差額	—	2,342
固定資産売却益	—	21
退職給付制度終了益	20,768	—
特別利益合計	20,768	2,364
特別損失		
減損損失	—	2,664
固定資産除却損	—	8
特別損失合計	—	2,673
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△208,880	66,048
法人税、住民税及び事業税	104,738	122,784
法人税等調整額	△117,319	△87,955
法人税等合計	△12,580	34,829
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△196,299	31,218
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△196,299	31,218

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△196,299	31,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	0
退職給付に係る調整額	3,502	—
その他の包括利益合計	3,455	0
四半期包括利益	△192,844	31,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192,844	31,219

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△208,880	66,048
減価償却費	46,182	49,362
減損損失	—	2,664
貸倒引当金の増減額(△は減少)	545,799	236,639
受取利息及び受取配当金	△13	△15
支払利息	8,729	12,507
売上債権の増減額(△は増加)	214,248	242,757
固定資産除却損	—	8
固定資産売却損益(△は益)	—	△21
代位弁済立替金の増減額(△は増加)	△795,364	△689,461
収納代行立替金の増減額(△は増加)	△197,758	△243,983
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,239	609
前受金の増減額(△は減少)	5,498	73,040
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,106	8,296
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△55,992	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12,314	△10,203
収納代行未払金の増減額(△は減少)	56,115	18,881
その他	△55,102	△27,755
小計	△446,507	△260,624
利息及び配当金の受取額	13	15
利息の支払額	△8,925	△12,765
法人税等の支払額	△96,078	△123,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	△551,497	△396,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,303	△72,034
有形固定資産の売却による収入	—	21
無形固定資産の取得による支出	△25,132	△26,609
その他	△21,216	8,169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,651	△90,452
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	530,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△33,320	△30,024
社債の償還による支出	△30,000	—
株式の発行による収入	394	453
配当金の支払額	△39,448	—
その他	△10,576	△12,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	417,049	557,947
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△201,100	71,091
現金及び現金同等物の期首残高	796,715	896,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	595,615	967,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	39	4.50	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

(注) 配当金は、株主総会決議に基づく手続きによりすでに支出しておりますので、利益剰余金は本配当金を控除して算定しております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	家賃債務 保証事業	不動産仲介事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,783,730	70,905	2,854,635	—	2,854,635	—	2,854,635
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,623	6,623	—	6,623	△6,623	—
計	2,783,730	77,528	2,861,259	—	2,861,259	△6,623	2,854,635
セグメント損失(△)	△203,933	△2,920	△206,854	—	△206,854	—	△206,854

(注) 1. 売上高の調整額△6,623千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	家賃債務 保証事業	不動産仲介事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,158,957	53,464	3,212,422	6,853	3,219,275	—	3,219,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,618	4,618	—	4,618	△4,618	—
計	3,158,957	58,083	3,217,041	6,853	3,223,894	△4,618	3,219,275
セグメント利益又は 損失(△)	101,178	1,729	102,907	△14,191	88,716	221	88,937

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療費関連事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 売上高の調整額△4,618千円については、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。